

**auカブコム証券株式会社**

**2020年3月期第3四半期**

**決算説明資料**

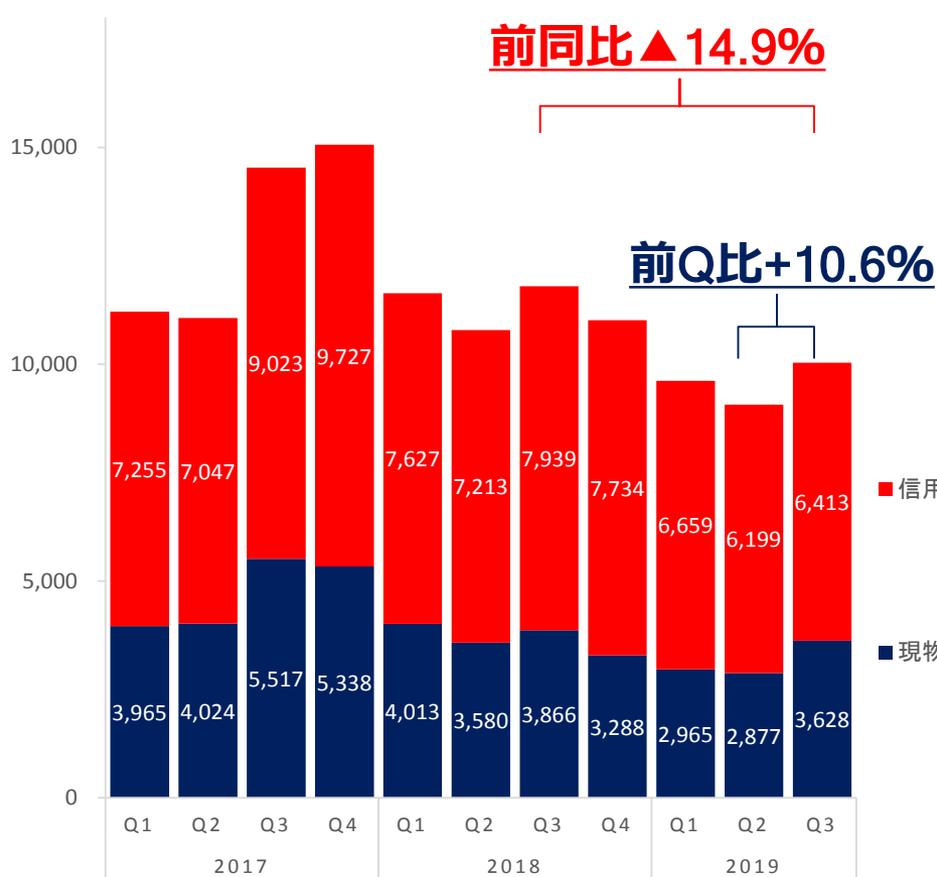
**2020年1月29日**



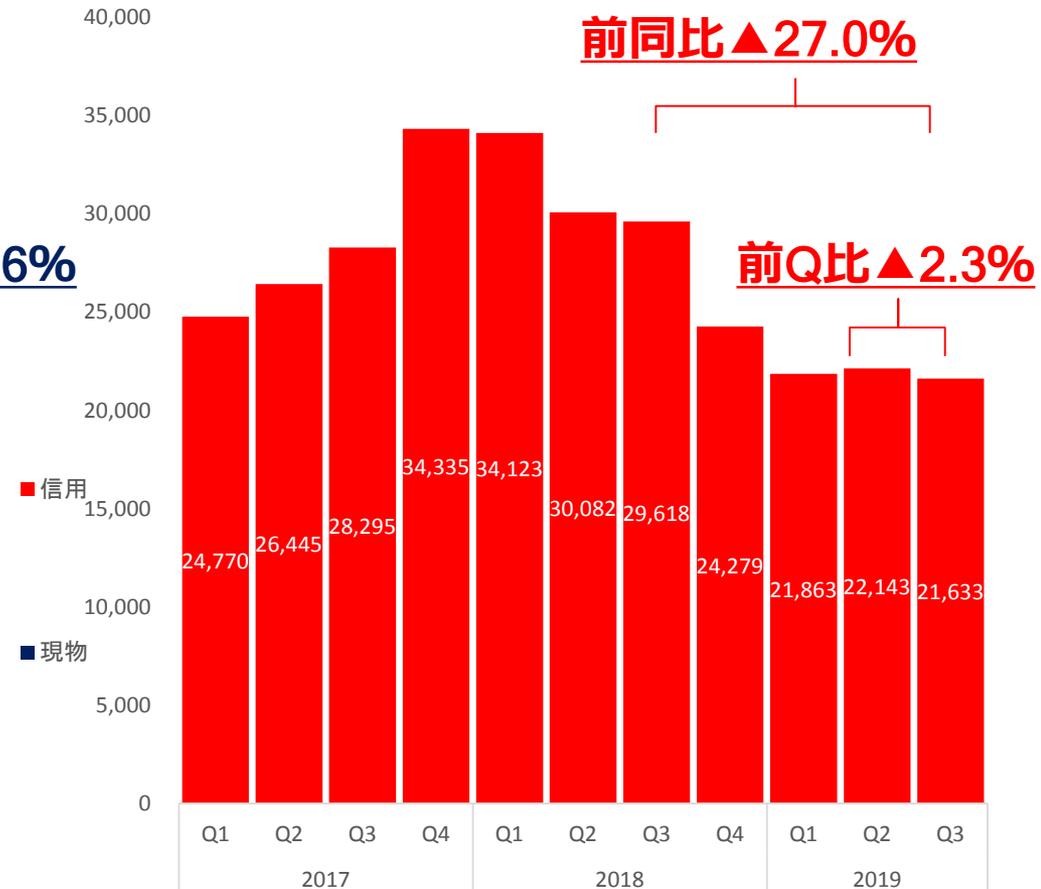
1. 市場環境
2. 前四半期比較：前Q比
3. 前年同期累計比較：前同比
4. 経営指標
5. 当期の取り組み

- 株式個人委託売買代金/日は、前Q比+10.6%、前同比▲14.9%
- 信用買残/週次平残は、前Q比▲2.3%、前同比▲27.0%

## 株式等個人委託売買代金/日(億円)



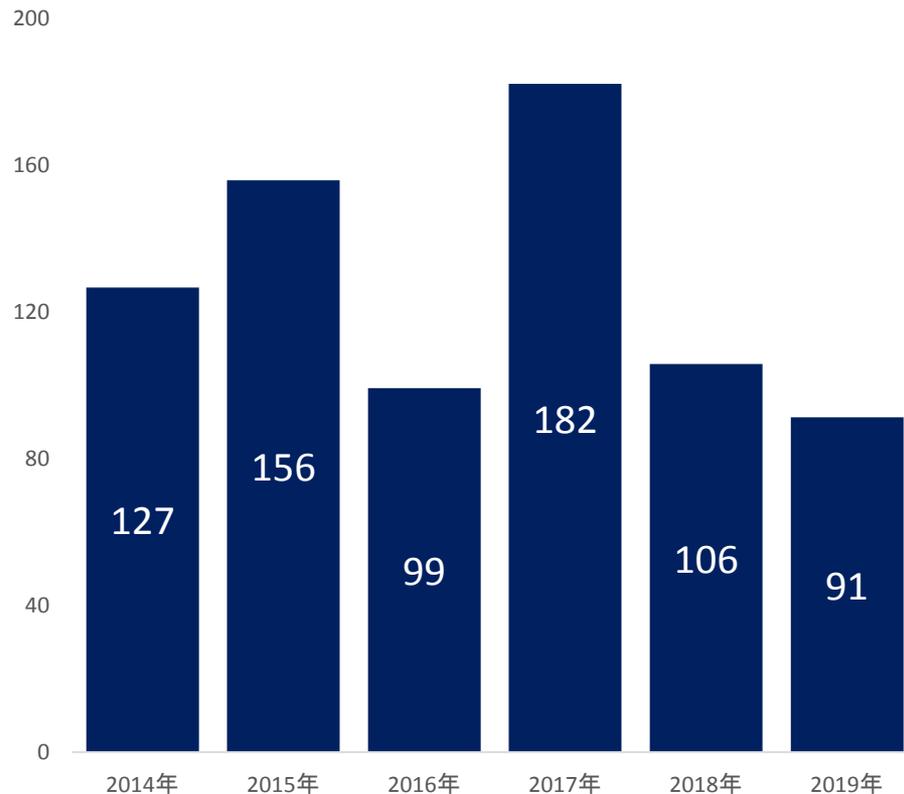
## 信用買残/週次平残(億円)



※株式等個人委託売買代金/日はETF、REIT含む

- お客様の株式等売却益にかかる19年12月時点キャピ税は+91億円
- 当社の信用買残評価損益率は市場を上回り推移。19年12月末では市場比+9.2%

14-19各年度 12月時点の  
キャピタルゲイン税(億円)



信用買残の評価損益率※



※取引所公表数値等より当社作成。データは一般信用を含んだデータです。

## 株式等 個人市場

- ・個人売買代金/日は前Q比+965億円、+10.6%
- ・信用買残高/週次平残は2.1兆円、前Q比▲2.3%と低迷
- ・個人市場（買いと売りの差額）は5,268億円の売越

## 2019Q3 業績

- ・株式市況の改善により純営業収益+1.4%と増収
- ・販管費は、主にシステム経費、広告費等の増加で+5.4%
- ・上記要因より、当期純利益は減益

## リテール業務

- ・大手ネット証券5社中で「最低プライスを出し続けて」いきたいという努力目標を【ベストプライス宣言】として掲げた
- ・【ベストプライス宣言！】の19Q3の取組み
  - 第1弾：業界に先駆けて信用取引手数料を撤廃
  - 第2弾：FX主要6通貨ペアのスプレッドを最低水準化
  - 第3弾：プチ株の買付手数料無料化

## BtoBtoC業務

- ・じぶん銀行との協業深化着実に進み、仲介新規口座獲得の増加数は4四半期連続で伸長

用語定義：

前Q比：前四半期比較、前同比：前年度同四半期累計比較

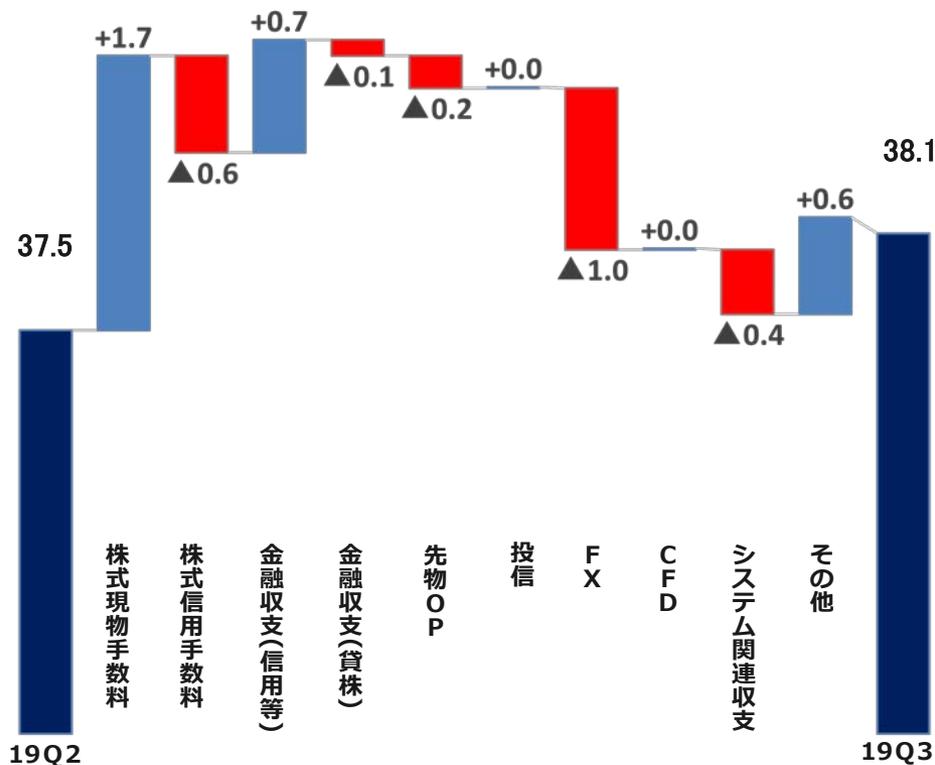
※全ページにおいて%は四捨五入、第二小数点は切り捨て

- 信用取引手数料撤廃により信用収益減少も、現物手数料増加し純営業収益は横ばい
- 販管費は、主にシステム経費と広告費の増加により+5.4%増加

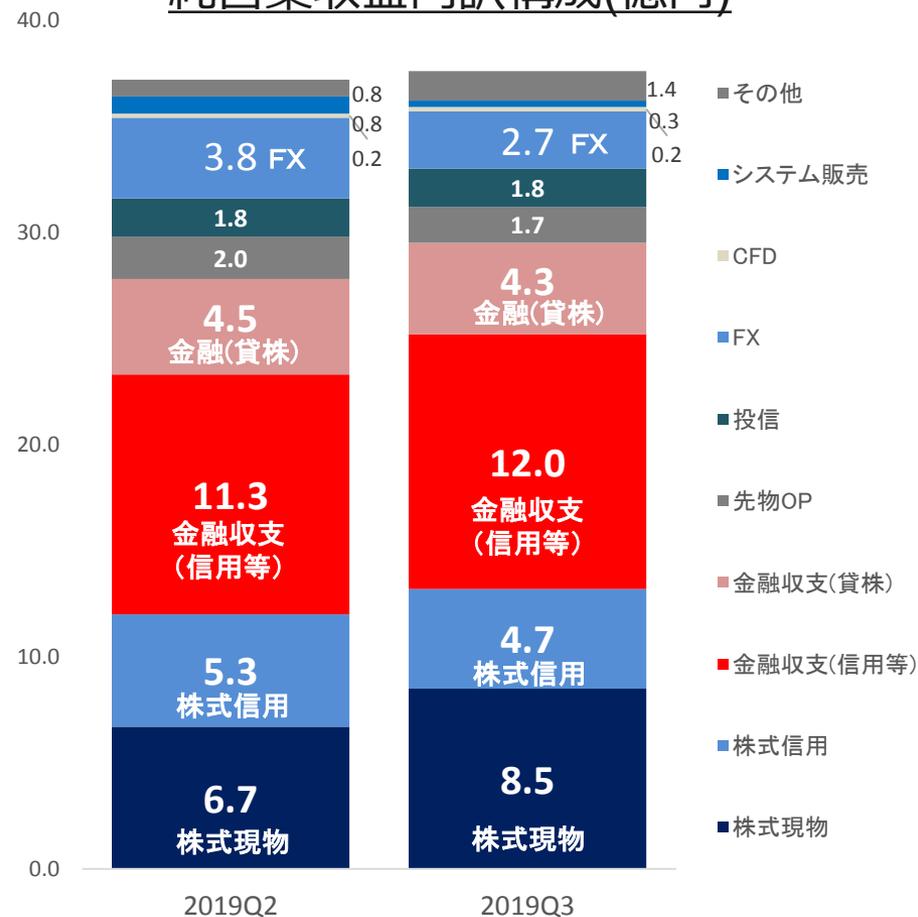
(億円)	2019Q2	2019Q3	増減額	増減率
営業収益	46.6	49.8	+3.1	+6.8%
純営業収益	37.5	38.1	+0.5	+1.4%
販管費	32.4	34.1	+1.7	+5.4%
営業利益	5.1	3.9	▲1.2	▲23.6%
経常利益	5.5	4.1	▲1.4	▲25.9%
当期純利益	5.6	2.5	▲3.1	▲54.6%
市場(億円)				
株式等個人委託売買代金/日 前Q比(前四半期比較)	9,076	10,041	+965	+10.6%
信用買残高/週平残 前Q比(前四半期比較)	22,143	21,633	▲510	▲2.3%

- 株式市場改善により株式現物手数料が増加した一方、FX収益は減少
- 12/16から信用手数料撤廃し、株式信用収益減収。開始後2週間で減収分は補えず

## 純営業収益増減内訳(億円)



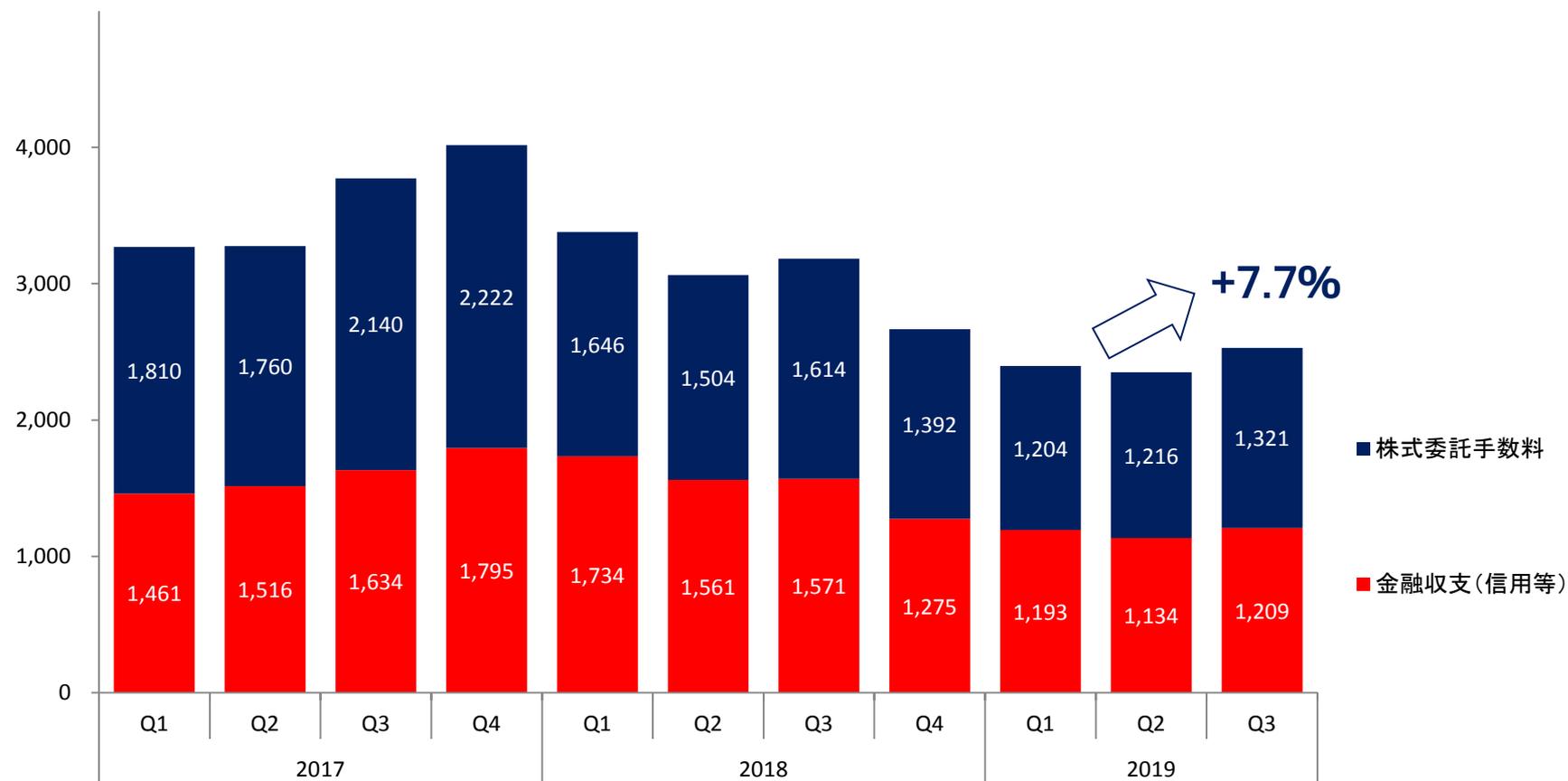
## 純営業収益内訳構成(億円)



※ 第二小数点以下切捨てるため、増減は完全に一致はしない。※ 「金融信用等」は、金融収支のうち貸株による収支を差し引いたもの

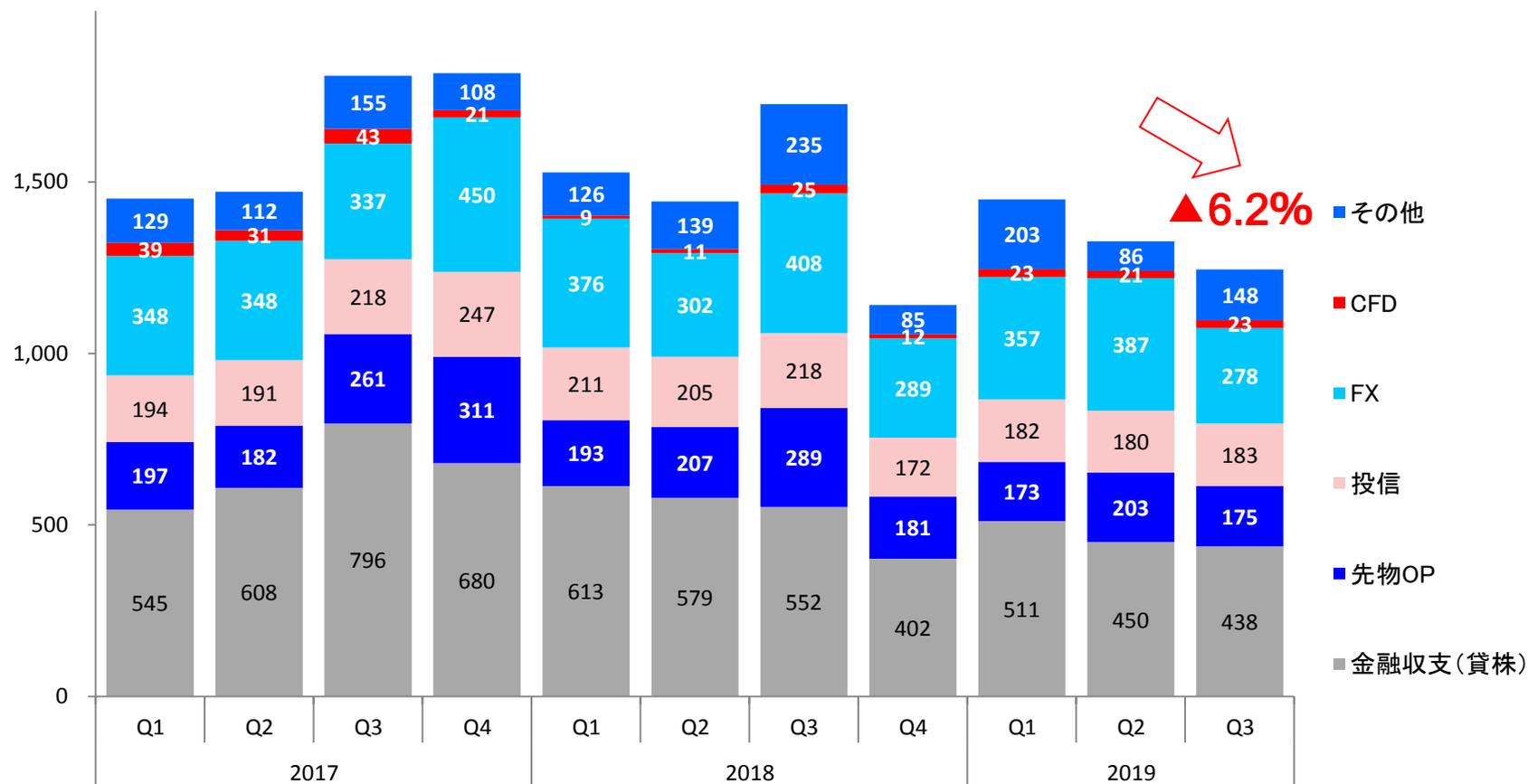
- 株式市場改善に伴い、株式関連の純営業収益は前Q比+7.7%と増収
- 一方、前同比▲24%の減収と、市況の回復に応じた収益の回復となった

## (株式関連) 純営業収益推移(百万円)



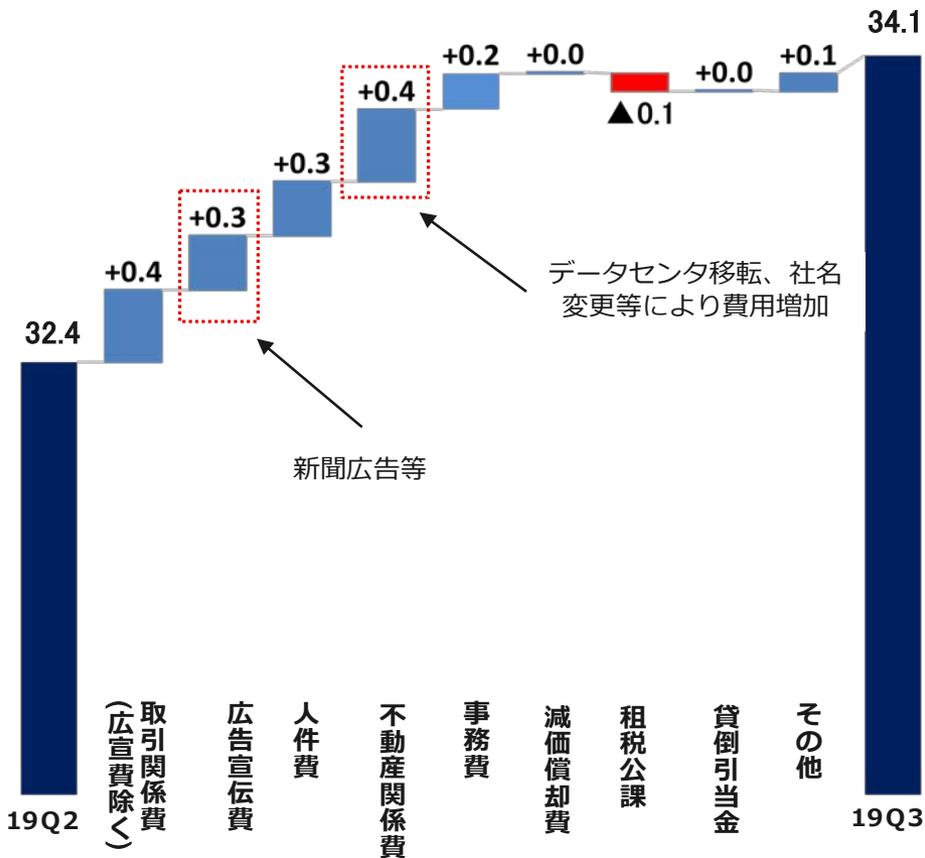
- FX、金融収支(貸株)、先物OP等の低迷により前Q比▲6.2%
  - 増加：投信+3百万円、CFD +2百万円、その他+62百万円
  - 減少：FX ▲109百万円、金融収支(貸株) ▲12百万円、先物OP ▲28百万円

## (他) 純営業収益推移(百万円)

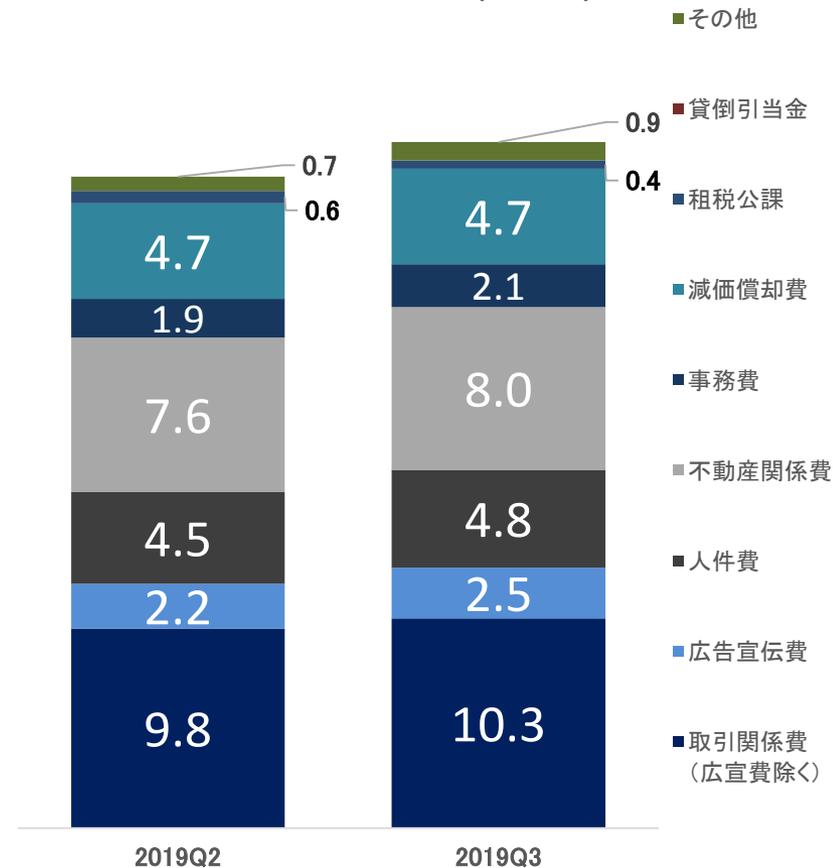


- 広告費は、新聞広告等により+0.3億円増加
- 不動産関係費は、データセンタ移転、社名変更対応により+0.4億円増加

## 販管費増減内訳(億円)



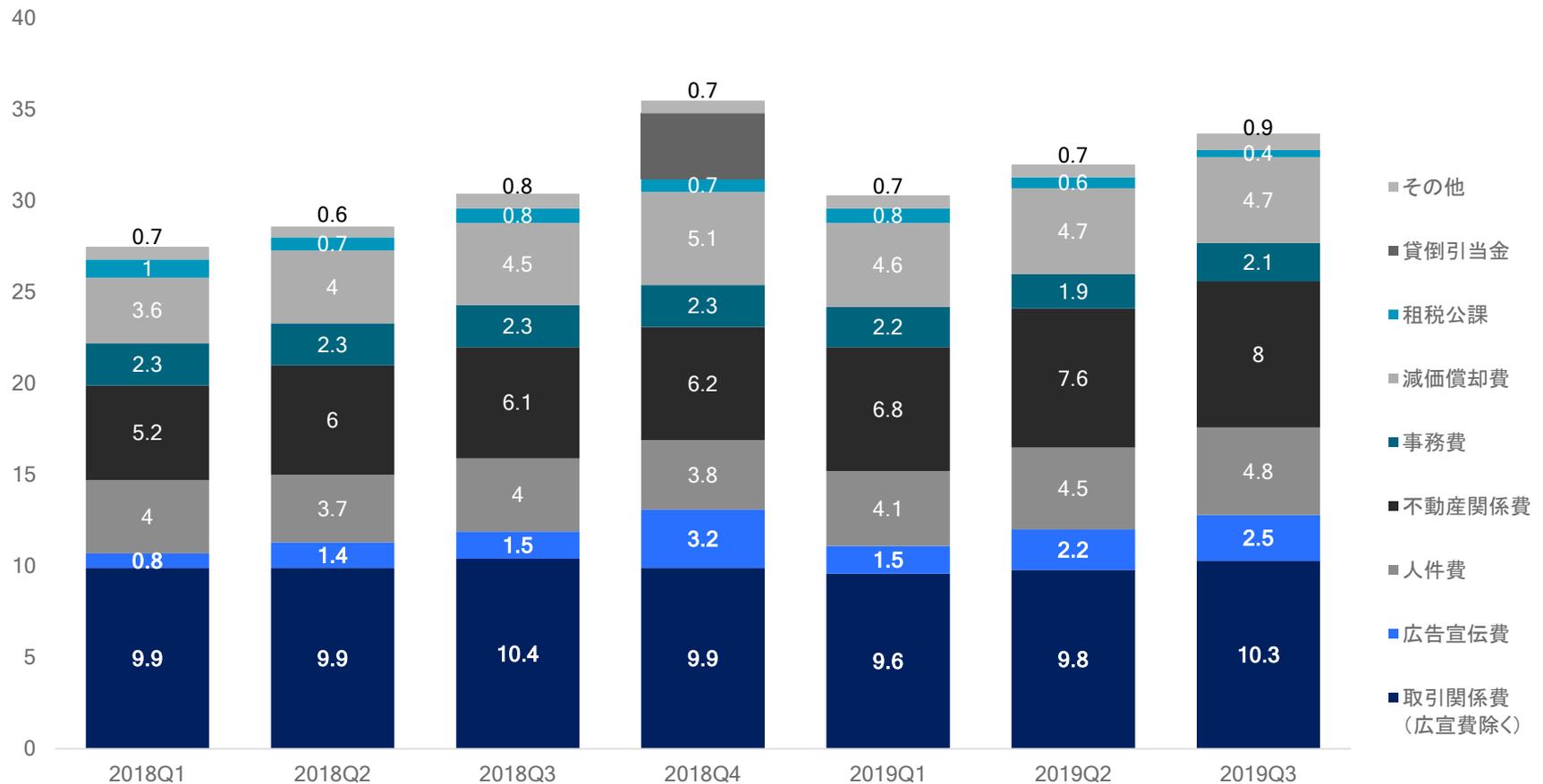
## 販管費内訳構成(億円)



※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない  
 ※ 不動産関係費 = 不動産費(支払家賃) + 器具備品費(システム経費)

- 販管費は、戦略的なシステム投資により増加傾向
- 一方、上記および広告宣伝費用等を除けば概ね横ばい

販管費推移(百万円)



※ 不動産関係費 = 不動産費(支払家賃) + 器具備品費(システム経費)。減価償却費は、システム投資によるものが主

1. 市場環境
2. 前四半期比較：前Q比
- 3. 前年同期累計比較：前同比**
4. 経営指標
5. 当期の取り組み

## 株式等 個人市場

- ・ 個人売買代金/日は前年同期比▲0.1兆円、▲16.1%
- ・ 信用買残/週次平残は前年同期比▲0.9兆円、▲29.9%
- ・ 個人市場（買いと売りの差額）は2.0兆円の売越

## 2019年度 Q1-3期業績

- ・ 株式、金融収支ともに低迷、純営業収益は前同比▲20.7%
- ・ マーケ、システム費用膨らみ販管費が前同比+10.6%
- ・ 上記要因より、減収減益

## BtoBtoC業務

- ・ じぶん銀行との銀証連携を着実に深化し、19Q3の仲介口座獲得数は前年同期比+31%

## au提携

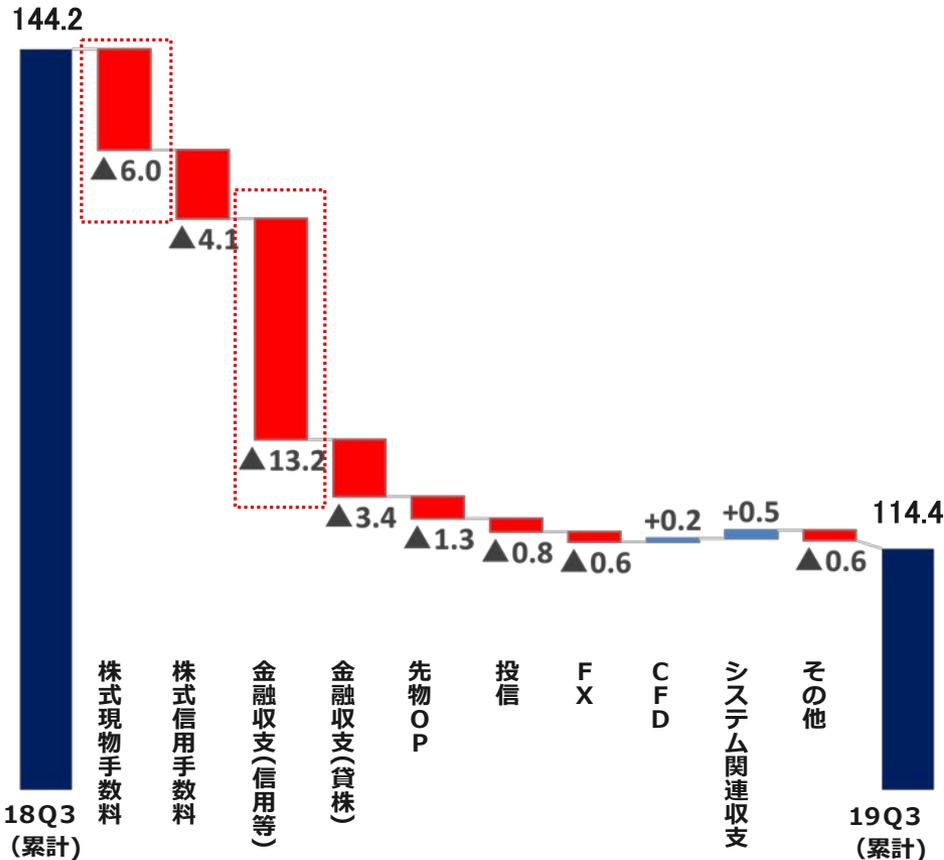
- ・ 12月1日『auカブコム証券』爆誕
- ・ KDDI×auカブコム証券「auの資産運用」を開始

- 株式市場低迷によりトップライン減少。前同比▲22.5億円、▲13.5%
- 販管費は、主に広告費とシステム経費の増加により前同比+9.3億円、+10.6%
- 上記要因より、当期純利益は前同比▲26.2億円、▲65.9%の減益

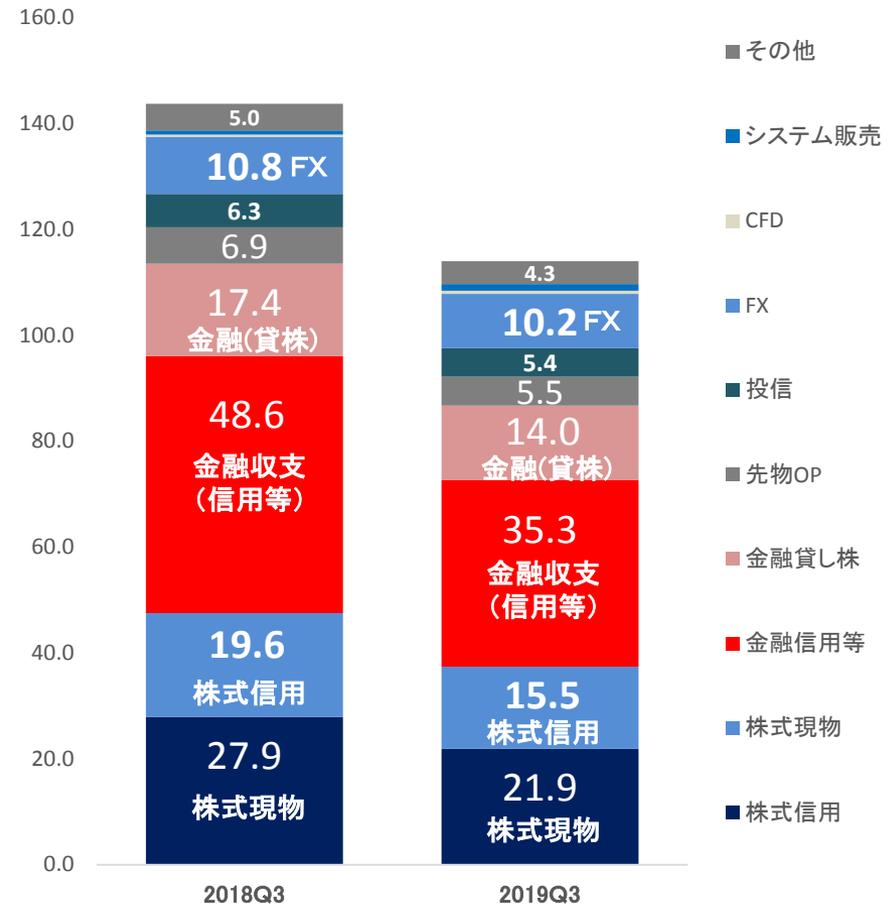
(億円)	18Q1-3	19Q1-3	増減額	増減率
営業収益	167.8	145.2	▲22.5	▲13.5%
純営業収益	144.2	114.4	▲29.7	▲20.7%
販管費	87.9	97.2	+9.3	+10.6%
営業利益	56.3	17.2	▲39.1	▲69.5%
経常利益	57.0	18.1	▲38.9	▲68.2%
当期純利益	39.8	13.5	▲26.2	▲65.9%
市場(億円)				
株式等個人委託売買代金/日 前同比(前年同期平均比較)	11,413	9,580	▲1,832	▲16.1%
信用買残高/週平残 前同比(前年同期平均比較)	31,201	21,880	▲9,321	▲29.9%

- 市況低迷により、純営業収益は前同比▲29.7億円
- 主な減少要因は、株式手数料▲6.0億円、金融収支(信用等)▲13.2億円

## 純営業収益増減内訳(億円)



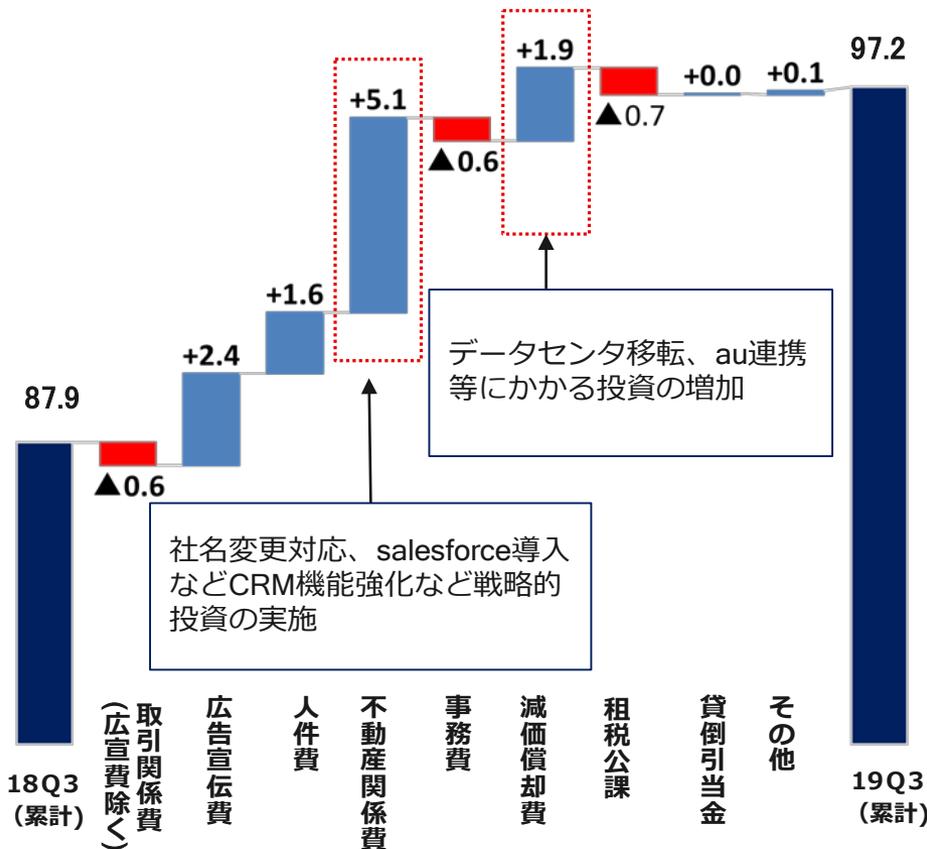
## 純営業収益内訳構成(億円)



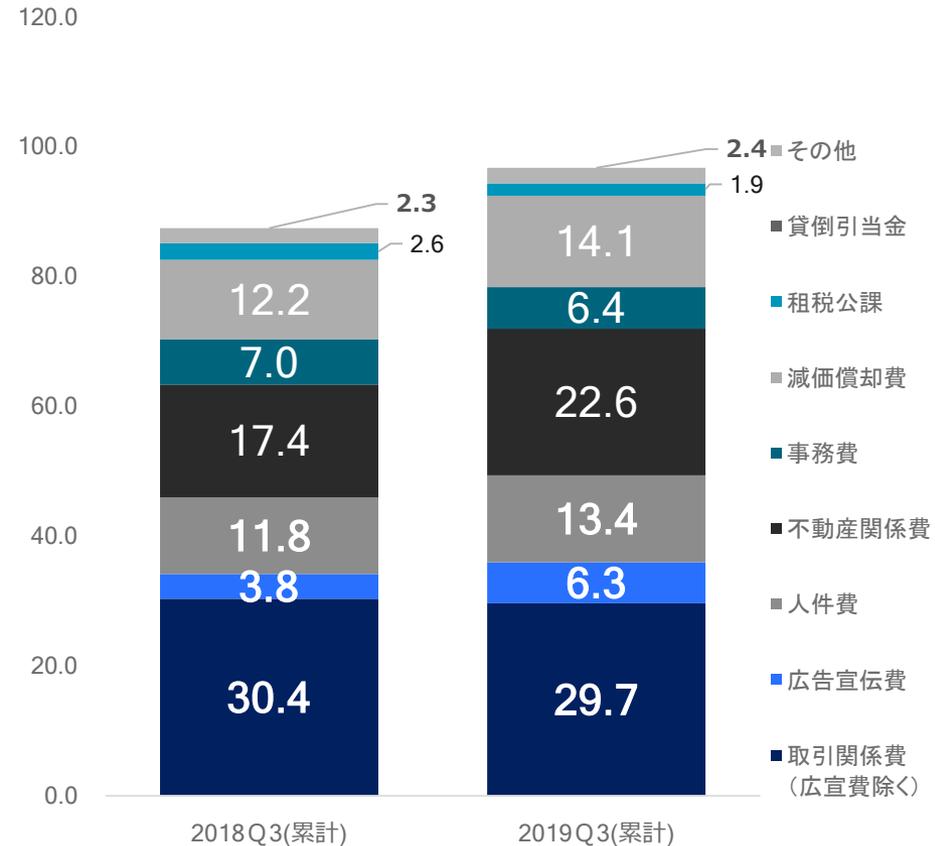
※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

■ 戦略的なシステム投資および社名変更やau連携強化に伴うシステム関連費用の増加により、不動産関係費+5.1億円、減価償却費+1.9億円

### 販管費増減内訳(億円)



### 販管費内訳構成(億円)



※ 第二小数点以下切捨てのため、増減は完全に一致はしない

※ 不動産関係費 = 不動産費(支払家賃) + 器具備品費(システム経費)。減価償却費は、システム投資によるものが主

1. 市場環境
2. 前四半期比較：前Q比
3. 前年同期累計比較：前同比
- 4. 経営指標**
5. 当期の取り組み

## ■ 19Q3のノントラディショナル収益は43%と高水準を維持

経営指数	2017年度				2018年度				2019年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
ROE※1	13.5%	12.1%	14.3%	14.5%	14.3%	12.2%	12.3%	9.9%	5.2%	5.6%	2.5%
純営業収益経常利益率	25%	36%	48%	40%	44%	36%	38%	6%	22%	15%	11%
BtoBtoC業績比率※2	7.3%	7.6%	7.4%	7.4%	8.3%	8.5%	7.9%	8.4%	8.7%	10.9%	9.7%
ノントラディショナル収益比率※3	39%	39%	40%	39%	40%	40%	43%	39%	47%	47%	43%
一人当り経常利益 (百万円)	9.6	13.9	21.5	18.8	17.4	13.0	14.3	1.7	5.7	3.6	2.5
自己資本規制比率	443%	396%	421%	372%	399%	377%	419%	369%	424%	376%	391%

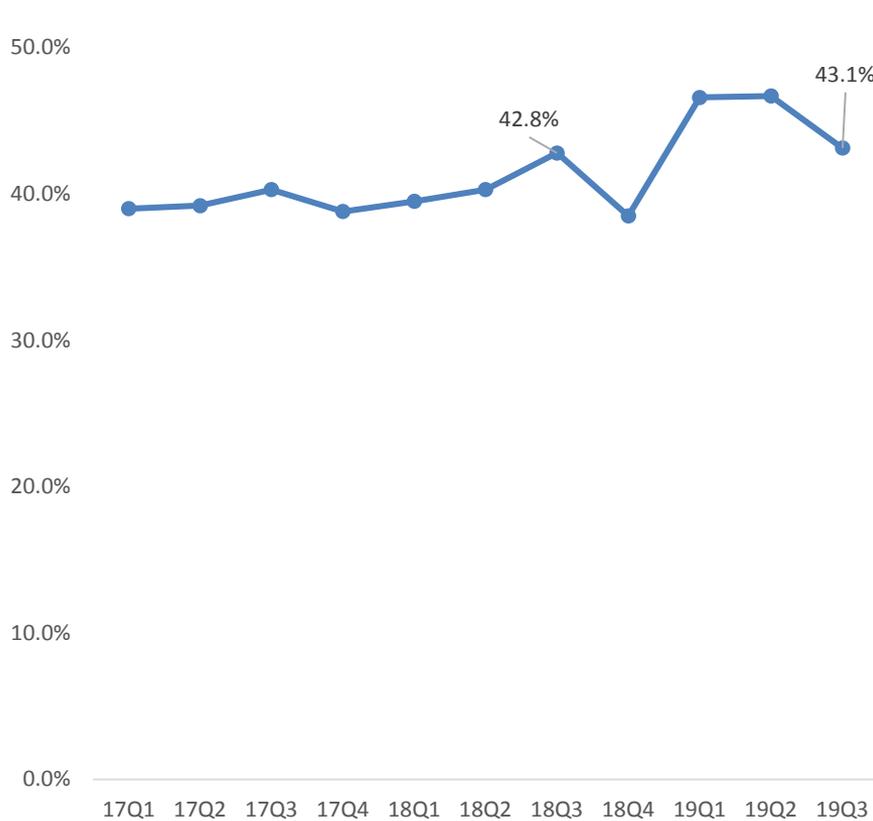
※1 当期純利益累計を年率換算して算出

※2 BtoBtoC収益とは、ノントラディショナル収益の一部であり、API、金融商品仲介、ASP、システム販売収支による収益の合計

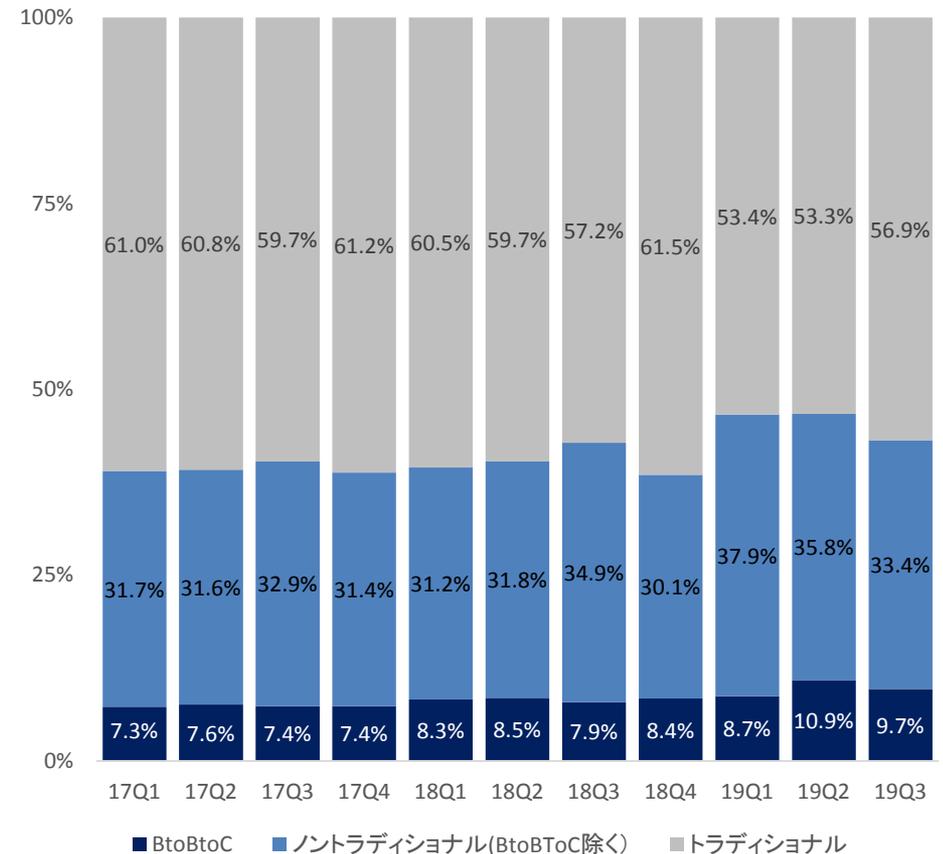
※3 ノントラディショナル収益とは、トラディショナル収益（API、金融商品仲介を除く株式委託手数料及び信用金融収支）以外の収益の合計

■ 19Q3のノントラディショナル収益比率は前Q減少も、18Q3比では+0.3pt

## ノントラディショナル収益比率



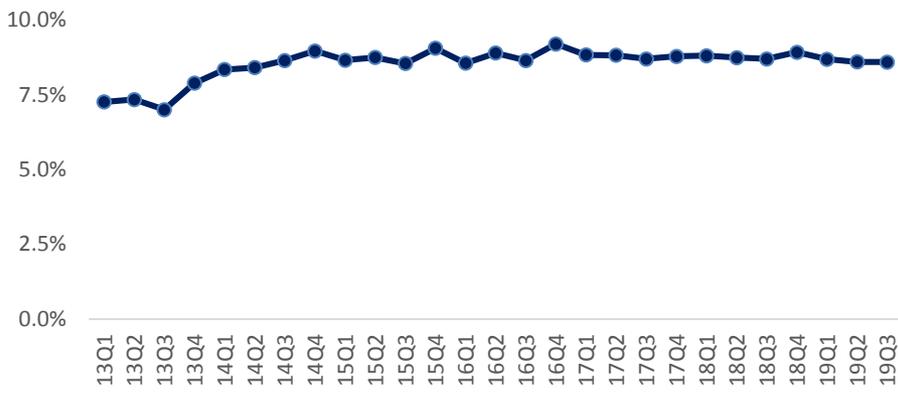
## 収益構成比率内訳(億円)



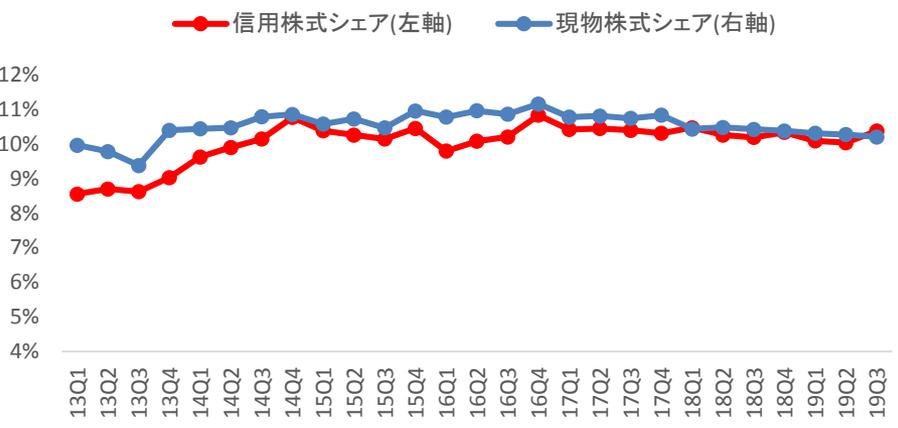
※ノントラディショナル収益とは、トラディショナル収益（API、金融商品仲介を除く株式委託手数料及び信用金融収支）以外の収益の合計  
 ※ BtoBtoC収益とは、ノントラディショナル収益の一部であり、API、金融商品仲介、ASP、システム販売収支による収益の合計

## ■ 当社株式シェアは横ばいで推移

### 当社株式シェア

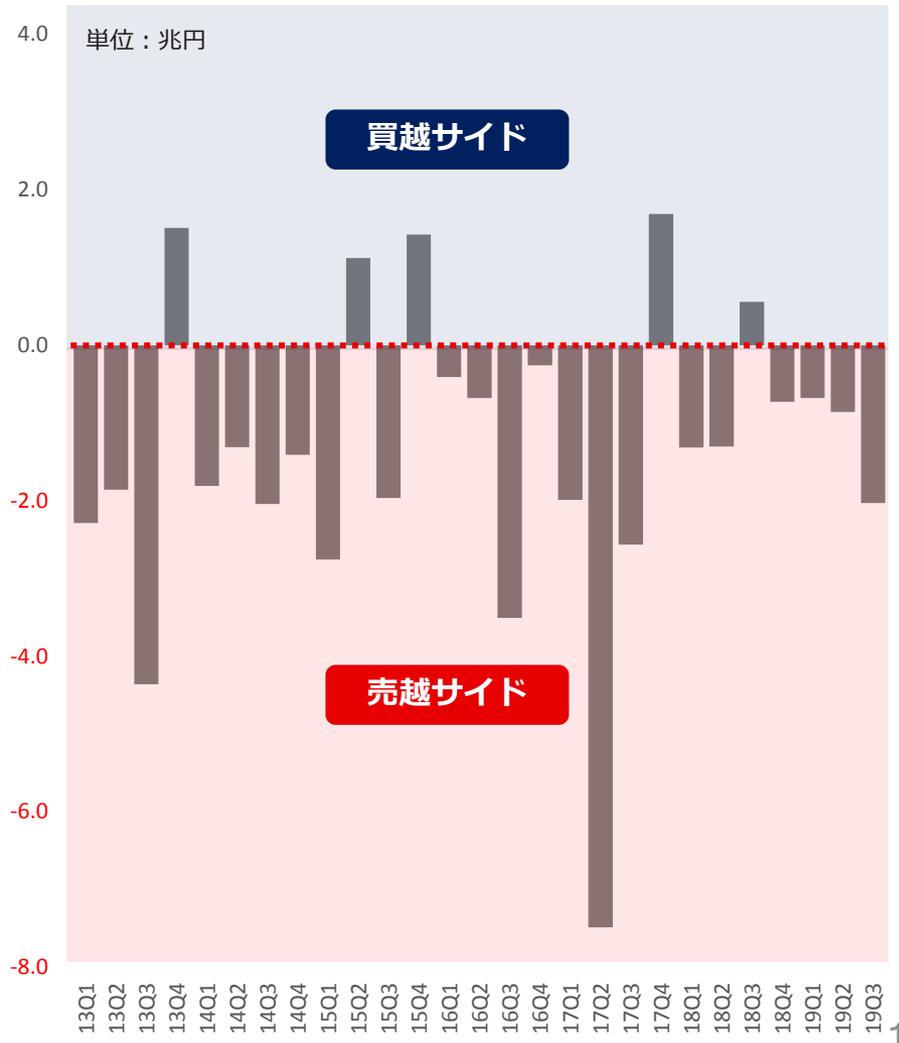


### 当社株式(現信別)シェア



※シェアは四半期末の月末時点

### 個人株式市場の買越・売越



1. 市場環境
2. 前四半期比較：前Q比
3. 前年同期累計比較：前同比
4. 経営指標
5. **当期の取り組み**

## MISSION

### すべてのひとに資産形成を。

資産形成が求められる時代に、  
機関(プロ)と個人の垣根を越えて、  
すべてのひとが、もっと自由で豊かな投資活動が出来る様にします。

## Management Vision

### ONE AND ONLY

#### 先進性、多様性ファースト。

常にデジタル・トランスフォーメーションし続ける先進性と  
変化が激しい時代に対応する多様性を発揮し、  
お客さまの投資成績向上を徹底追求します。

#### 3社の強みで、生み出す。

総合金融機関としてのMUFGの信頼、  
au・KDDIの持つスマホ経済圏、  
そしてIT証券黎明期から脈々と培われたカブコムのデジタルテクノロジー。  
タッグを組んだ3社の強みで「他に無い」サービスを生み出します。

- すべてのひとに資産形成をMISSIONとしてauカブコム証券爆誕！
- 『ベストプライス宣言！』にもとづく取組みを実施

MUFG × KDDI 最強布陣

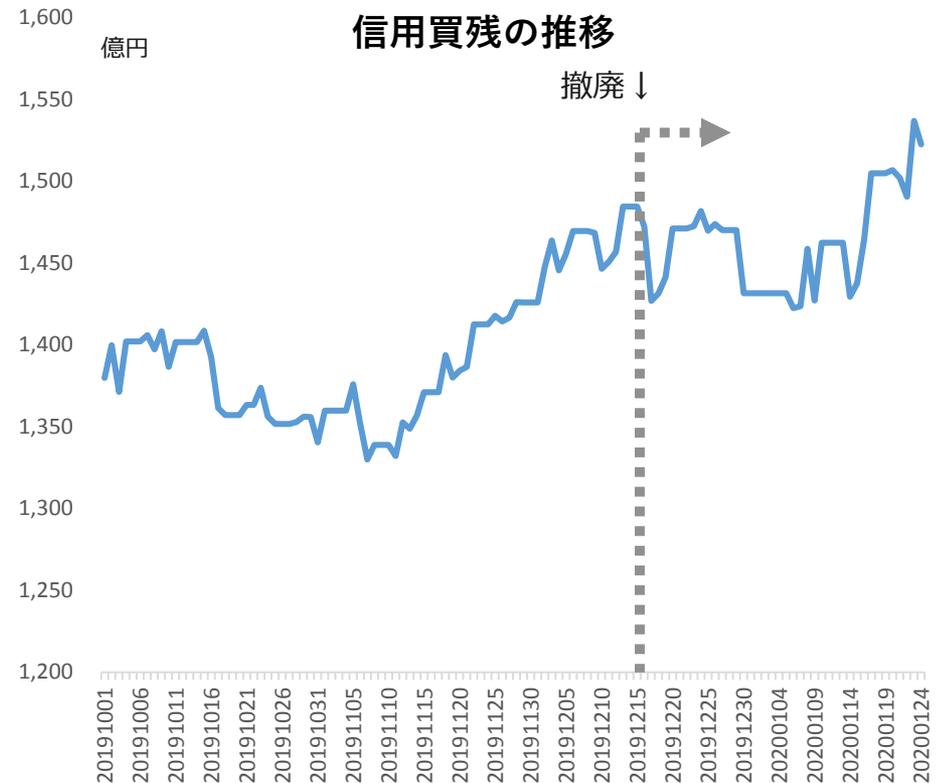
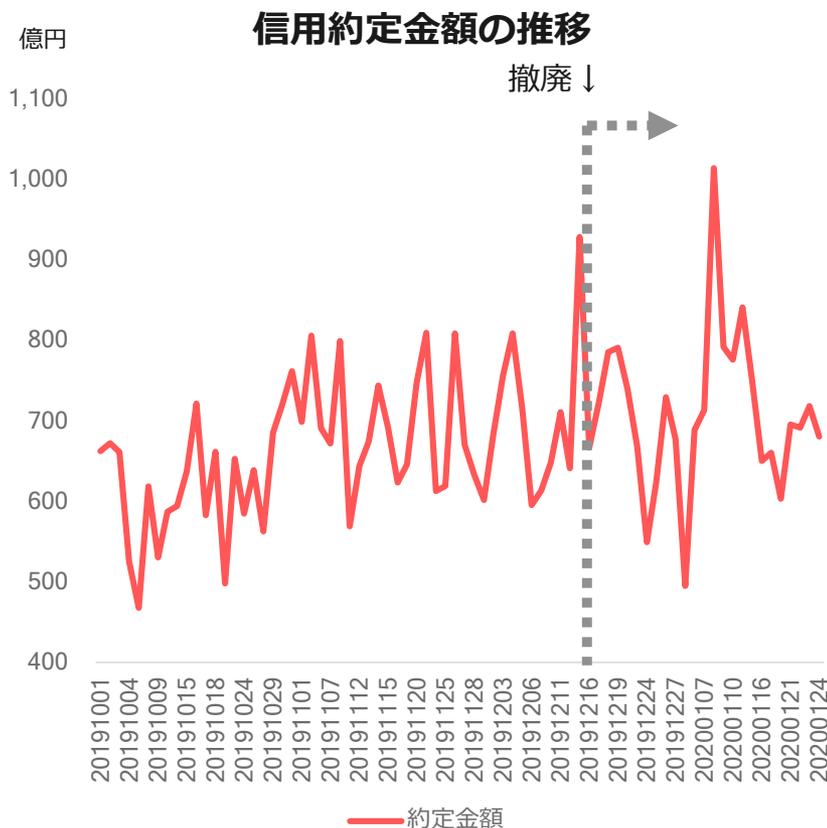
## auカブコム証券 爆誕!

すべてのひとに資産形成を。

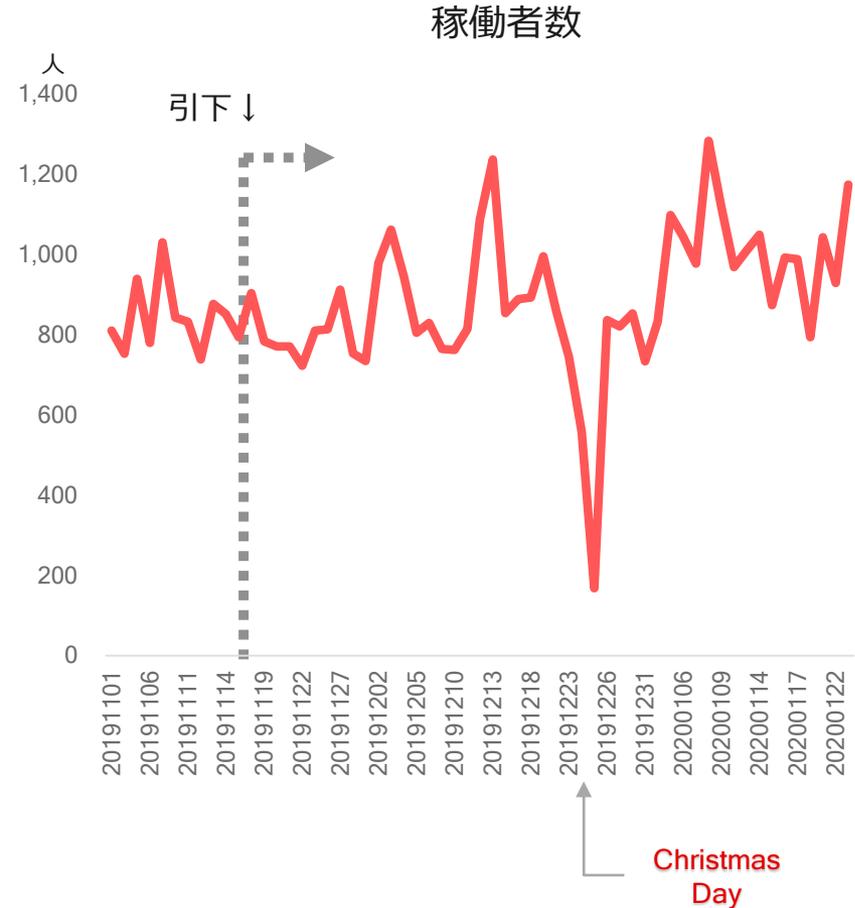
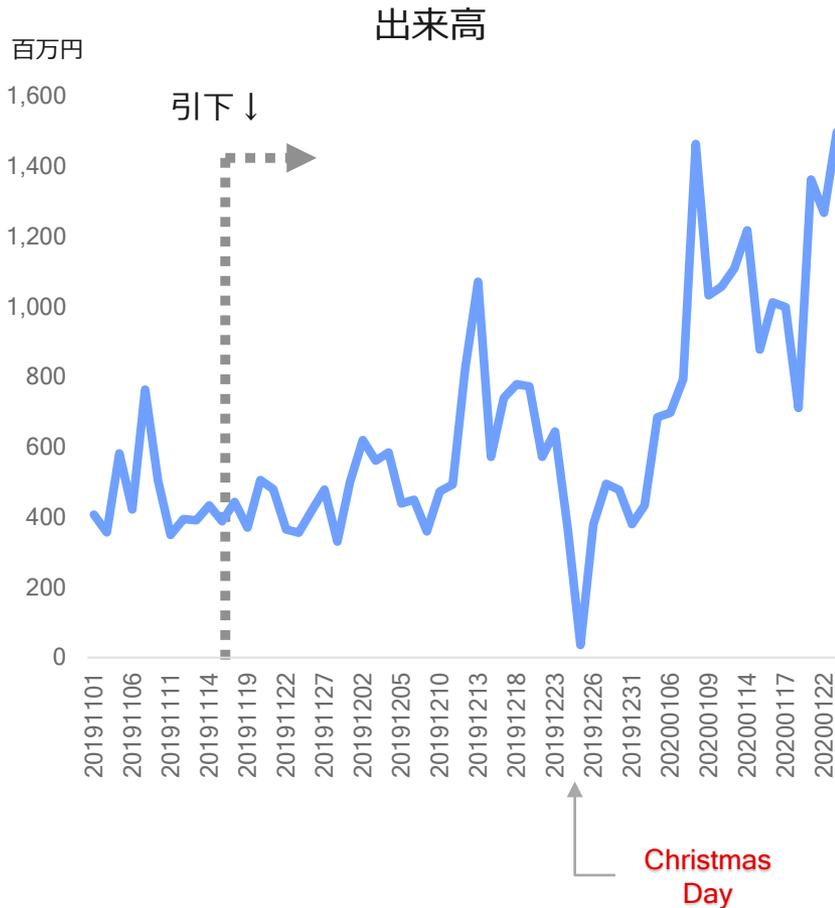
第一弾	第二弾	第三弾
<p><b>ベストプライス宣言</b></p> <p>シオレFX*主要6通貨ペアのスパレドを業界最低水準に</p> <p>COMPLETED</p>	<p><b>ベストプライス宣言</b></p> <p>信用取引の取引手数料を撤廃し、無料(0円)に</p> <p>COMPLETED</p>	<p><b>ベストプライス宣言</b></p> <p>ブチ株*積立(プレミアム積立*ブチ株*)の買付手数料を無料(0円)に</p> <p>COMPLETED</p>
第四弾	第五弾	キャンペーン
<p><b>ベストプライス宣言</b></p> <p>投資信託の買付手数料を撤廃し、無料(0円)に</p> <p>COMPLETED</p>	<p><b>ベストプライス宣言</b></p> <p>フリーETF取扱銘柄を拡大し、100銘柄に</p> <p>COMPLETED</p>	<p><b>キャンペーン</b></p> <p>【貸株ボーナス銘柄に限り】 貸借料率2倍アップ キャンペーン</p> <p>期間限定で、貸株ボーナス銘柄の貸借料率が2倍に</p> <p>COMPLETED</p>

19Q3実施分

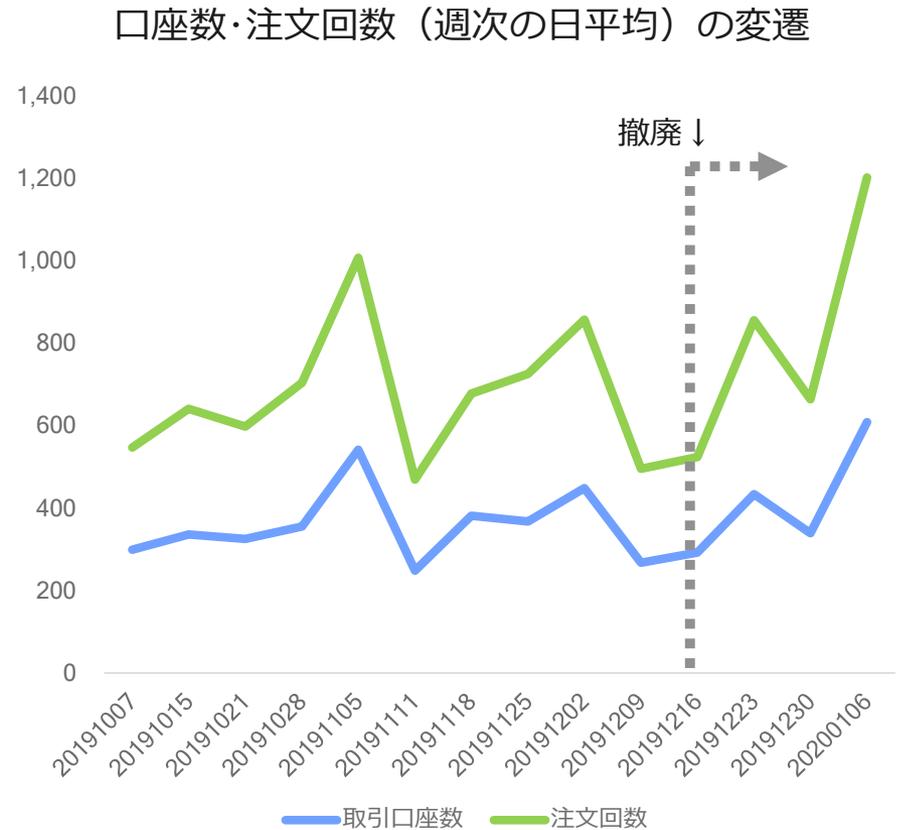
- 12/16に信用取引手数料を他社に先駆けて撤廃。合わせて金利/貸株料を引上、品受/品渡手数料を新設
- 市況・季節要因により増減あるものの、信用買残高増加。一方、約定金額は更なる上積みが課題



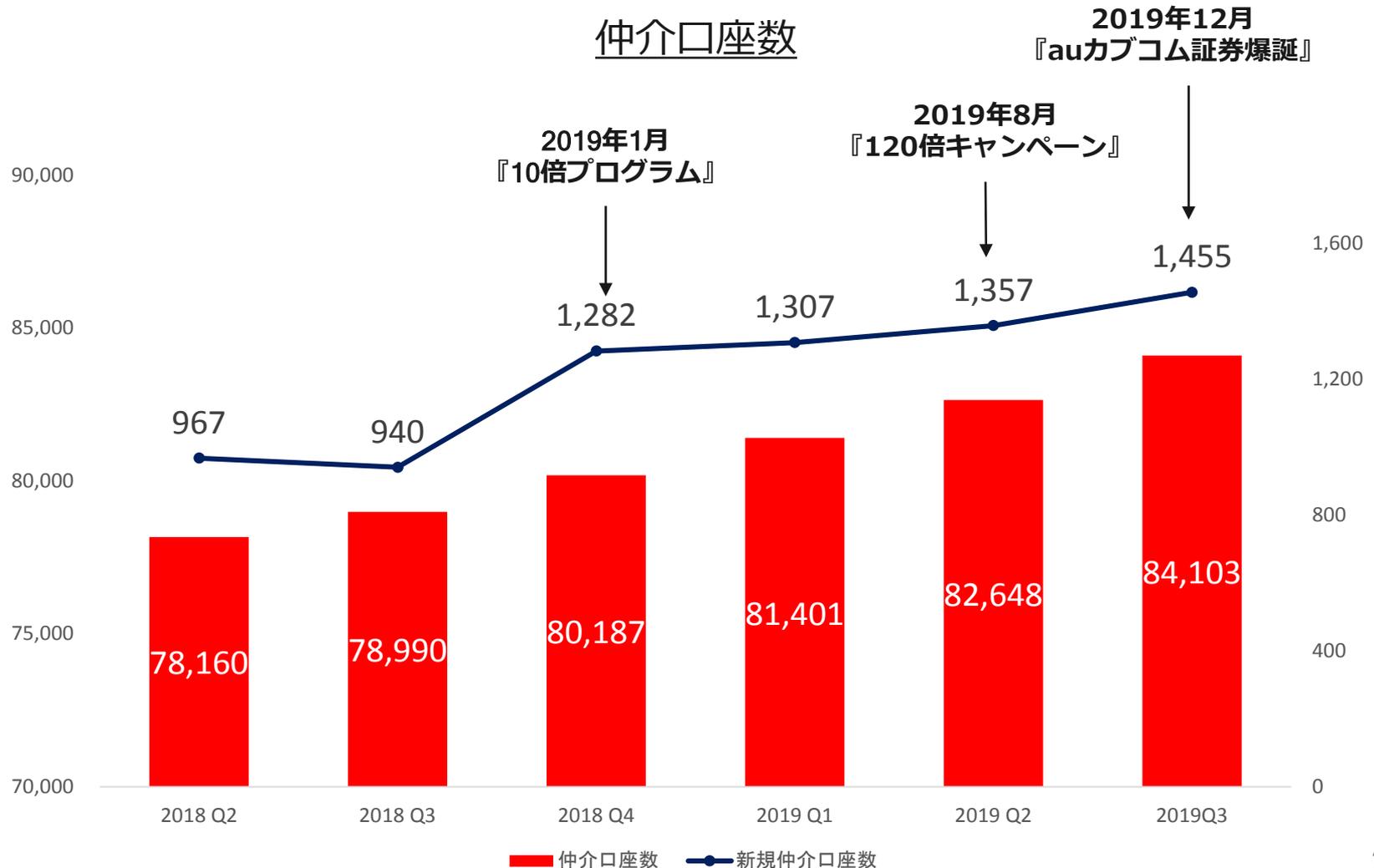
- 主力FX「シストレFX」のスプレッド（手数料相当分）を11/15に大幅引下げ。最人気通貨ペアの米ドル/円その他、英ポンドやユーロなども業界最低水準とした
- 結果、市況等による騰落はあるものの、出来高は増加傾向にあるといえる



- 12/16にプチ株積立時の買付手数料を撤廃。積立設定した口座数（取引口座数）の増進を企図。結果、約定金額、口座数・注文回数が無料化後に増加傾向となった

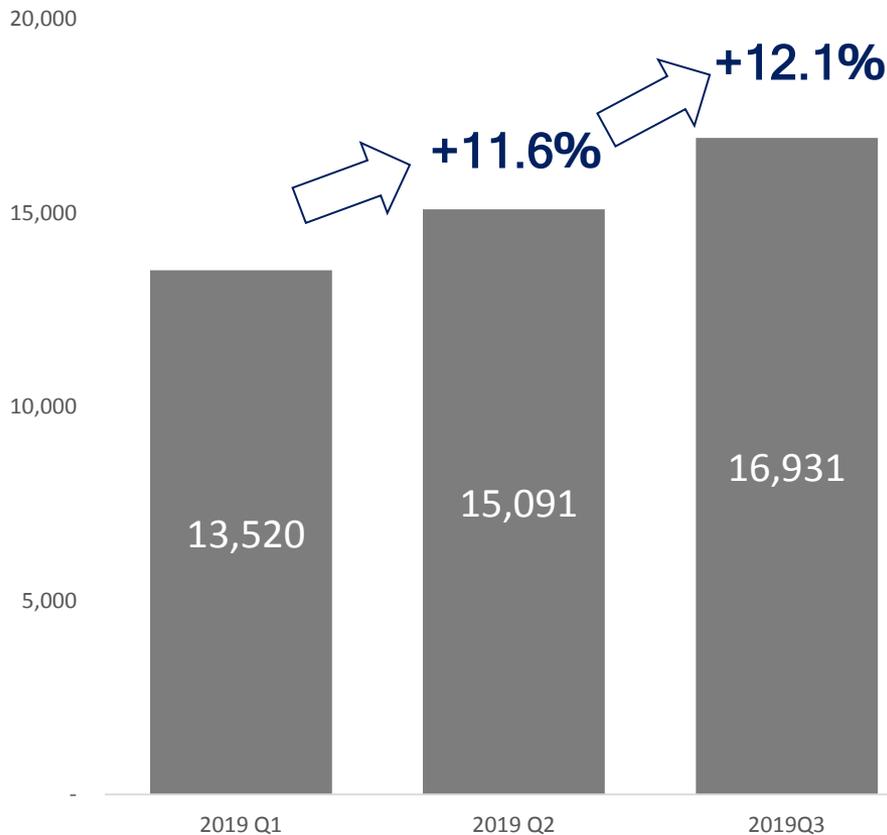


- 各種キャンペーン実施のほか、投資信託購入の簡易化など協業を深化
- 19Q3における仲介口座獲得数は前同比+31 %の増加

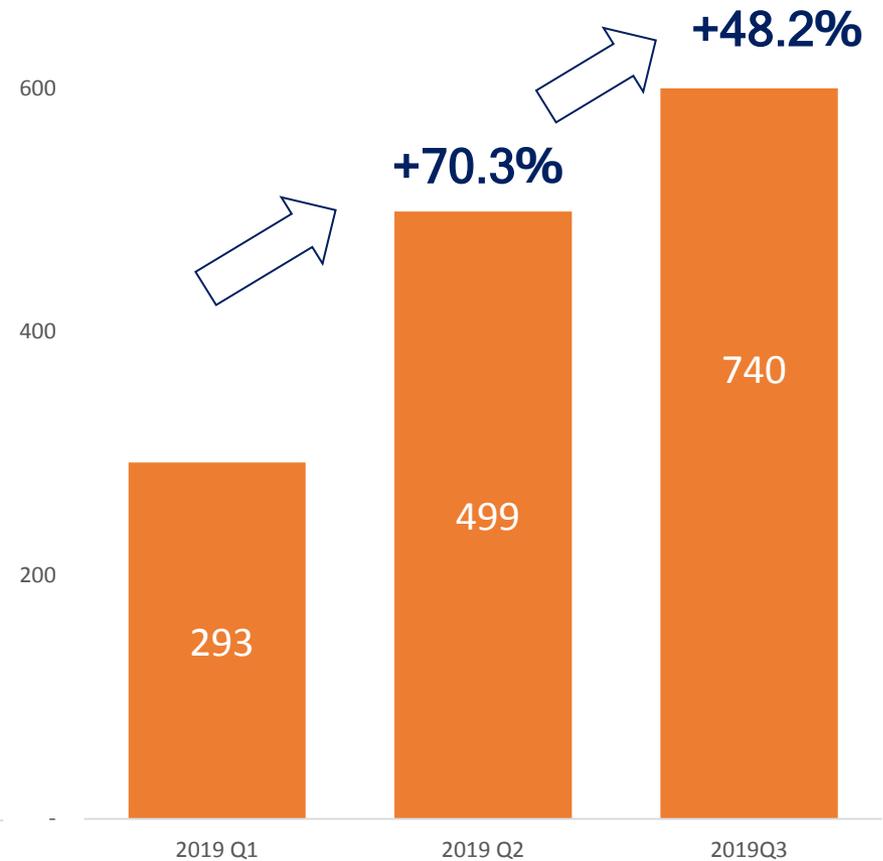


- 6月末より、じぶん銀行アプリ経由の当社取扱い投資信託購入を簡易化
- じぶん銀行経由の投信販売約定件数は前Q比+12.1%、販売額は前Q比+48.2%

仲介投信販売約定件数(千件)



仲介投信販売額推移(百万円)



## ■ KDDI×auカブコム証券 「auの資産運用」を12月25日より提供開始

au WALLET アプリの「資産運用」の項目よりご利用いただけます。

つみたてNISAやプチ株、新規公開株など、株取引が初めてというお客さまから本格的な投資をご希望のお客さままで、お客さまのニーズに合わせたシームレスなサービスを提供します。アプリから証券口座開設の申込みも可能です。



<au WALLET アプリ トップ画面>



<au WALLET アプリ「資産運用」遷移先画面>

- auカブコム証券YouTubeチャンネル登録者数が10,000名突破！！
- 河合セミナー好評により躍進。楽天証券チャンネル(1.26万名)との差は約2,100名
- チャンネルの視聴回数は、auカブコム証券4,564,518回、楽天証券650,027回

## auカブコムチャンネル出演者

### 河合達憲

auカブコム証券 チーフストラテジスト

近畿大学大学院・博士前期課程修了。日本で数少ない証券専攻修士号のマスター称号を有する。中堅証券調査部にて調査・情報畑一筋で20数年来、企業調査や投資戦略、投資手法などの戦略構築に従事。ファンダメンタルとテクニカルを融合した投資分析を実践しており、各種マネー誌や月刊宝島、夕刊フジ等の銘柄推奨コンペティションでの優勝など各賞を多数受賞した実績により推奨銘柄的中率の高さは実証済み。マクロ分析から個別銘柄までトップダウンアプローチでの分析力も定評。近著『9割の人が株で勝てない本当の理由』（扶桑社）、最新刊『株の五輪書』（マガジンハウス）など著書多数。毎週火曜夜のkabu.com戦略セミナーが大人気を博し、TV・ラジオにも多数のレギュラー出演する傍ら、2013年より大阪国際大学、および大阪国際大学短期大学部にて大学講師としても登壇中。

### 山田勉

auカブコム証券 マーケットアナリスト

準大手証券にてディーラー、マーケットメイカー、マーケットアナリストとして十数年活躍。2004年5月、カブドットコム証券（auカブコム証券）入社。『こちカブ』（ラジオNIKKEI）『まーけっとNavi』（日テレNEWS24）『マーケットホットライン』（ストックボイス）など出演。デフレ脱却と成長経済復帰で「日本を取り戻す」のが悲願。

## チャンネル登録者推移





- 会社情報・IR情報 <https://kabu.com/company/>
- 決算・財務情報 [https://kabu.com/company/disclosure/accounting\\_line.html](https://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.html)
- 月次情報開示口座数・約定情報等の推移 [https://kabu.com/company/monthly\\_disclosure/order/default.html](https://kabu.com/company/monthly_disclosure/order/default.html)
- サポートセンターレポート <https://kabu.com/support/report/default.html>
- 顧客投資成績 [https://kabu.com/company/monthly\\_disclosure/score/default.html](https://kabu.com/company/monthly_disclosure/score/default.html)
- システムレポート [https://kabu.com/company/monthly\\_disclosure/system/default.html](https://kabu.com/company/monthly_disclosure/system/default.html)
- 売買審査状況 [https://kabu.com/company/monthly\\_disclosure/mktsurvey/default.html](https://kabu.com/company/monthly_disclosure/mktsurvey/default.html)

## ■お取引にあたってご注意いただきたい事項

各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

※証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。

お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

※投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書商品毎 および目論見書補充書面投資信託をよくお読みください。

※信用取引・指数先物取引・指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える 大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。

※外国為替証拠金取引FXは、取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。又、外国為替証拠金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。

※外国債券の価格は、金利水準の変動により上下するため、償還前に売却する場合には、元本損失が生じることがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。外国債券は、為替相場の変動等により、元本損失が生じたり、債券を発行する組織発行体が所属する国や地域、取引がおこなわれる通貨を発行している国や地域の政治・経済・社会情勢に大きな影響を受けたりするおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートと買付け適用為替レートには差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。

※お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

※各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ<https://kabu.com/cost>等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。

※掲載情報の最新情報は当社ホームページ<https://kabu.com/>にてご確認ください。

◆ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちらをご参照ください。 <https://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>